

欠席委員意見要旨（弘中委員）

- 前回、私が発言した部分につきまして、ご反映くださってありがとうございます。
- **全体を通して、特に異論のある部分はありません**でした。
- 「あいち経済労働ビジョン」という名称の「経済労働」という部分に個人的に多少違和感がありました。「**経済・労働**」などと**経済と労働を分けて表現する**のはいかがでしょうか。
- 今回、委員の皆様・職員の皆様が多く時間をかけて魅力的なプランを立案しているので、**名称ももう少し社会にアピールするようなものでもよいかもしれません**。個人的に名称は重要であると捉えております。「あいちビジョン 2030」に合わせて名称の変更が難しければ、**サブタイトルなどを付してはどうでしょうか**。（目標である「**国際イノベーション都市**」という語を入れるなど）

欠席委員意見要旨（喜多委員）

- この1年は“変化”と“慣れ”を感じる1年になりました。コロナ禍が想像以上に広がりを見せた反面、ソーシャルディスタンスがすでに当たり前になっていることにも驚いています。有事でも平時でも、将来に向けて試行錯誤を続けることの大切さを学びました。
- 本計画が策定された後も、**コロナ禍のみならず“変化”は絶えず訪れるという前提に立って、常に新しい形を模索していく必要がある**と考えています。
- 例えば、本計画にも施策が盛り込まれている観光についてですが、極端な話、リアルな観客が来なくてもオリンピックが成立する、そんな時代が訪れてもおかしくありません。誘客施策について、実際に足を運んでもらった時の喜びはもちろん、**来られない人にも魅力を伝えていけるよう、新たなテクノロジー・サービスを取り入れていく必要がある**と思います。
- 続いて、スタートアップで働く立場からもコメントさせていただきます。世論としても体感としても、リモート環境は整ってきており、**Uターンにはチャンス、Iターンには逆風が来ています**。個人的な感覚ですが、“地縁”は社会人より学生時代に過ごした土地に感じるのので、**高校・大学の魅力づけも大事**になってくると考えます。
- また、起業についてはそのルートが多様化していきます。学生起業家だった人が企業勤めを経て再チャレンジしてみたり、大企業の社員が副業としてやっていたことが事業になったり、いろいろなパターンがでてきます。それにあわせて支援の在り方も変わっていくと思いますが、1人目は支援がなくとも勝手にやるものなので、**地域としては2人目以降が生まれる仕組みを意識していくのがよい**と考えています。
- 最後に、コロナ禍においても会議をすすめ、とりまとめいただいた事務局に御礼申し上げます。この先に向けて、**オンラインで開催したり、若年起業家を招待してみたり、部会としても新たな発信ができることを期待**しています。